

3月定例会

P8~12

10名が一般質問

委員会レポート

P6~7

市場施設の減額貸付けを否決

令和7年度一般会計予算は!?

345億

骨格予算

3,000万円を可決! P2~3

市民の声を反映しました

加齢性難聴者補聴器購入の補助

住宅リフォーム資金助成

中学生の議会傍聴 P14

今年度も6月定例会は中学生が議会を傍聴します!

議 論

山陽小野田市議会

vol.77 令和7年6月

【視察報告】先進事例を知る。 P13



・岡山県、香川県坂出市
・滋賀県大津市、草津市

・茨城県下妻市

大正大学地域創生学部教授
本市議会アドバイザー

江藤 俊昭氏



議員研修会

P14

これからの地方議会と議員の在り方とは

345 億 3000 万円を可決！

予算総額は、※「骨格予算」として編成され、歳入歳出それぞれ 345 億 3000 万円で、前年度より 5.7%、18 億 7300 万円の増額となりました。予算審査に当たっては、38 事業を抽出し、各分科会で審査を行い、分科会審査終了後の委員会では賛成多数で可決しました。

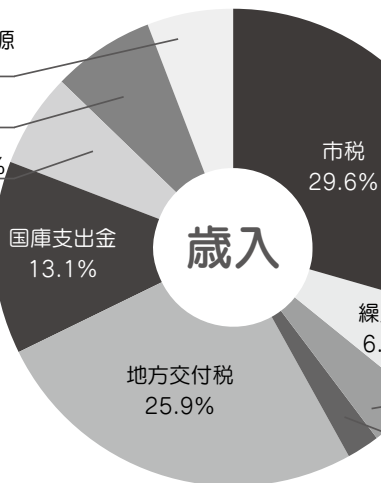
市と市民が一丸となって協創によるまちづくりを進めるための予算編成となっています。

一般会計予算の内訳

その他依存財源
5.8%

市債 6.8%

県支出金 6.3%



その他 1.0%

教育費 6.1%

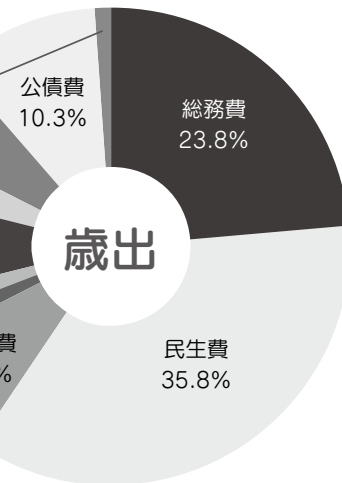
消防費 3.5%

商工費 1.9%

農林水産業費 1.8%

諸収入 3.9%

その他自主財源 2.3%



地域運営組織推進事業



令和6年9月に市内全11地区で設置された地区運営協議会の円滑な運営と活動を進めるとともに更なる充実を図っていくため財政的支援と人的支援を実施するものです。

予算額

2863万7000円

主な質疑

- Q** 地域づくり政策アドバイザーの必要性はあるのか？
- A** 地区運営協議会の形成からの期間が短いので、ある程度軌道に乗るまでは随時相談できる体制を整える必要があり、予算額のうち257万4000円が充てられる。

中学生の文化スポーツ活動体制整備推進事業



令和6年11月に策定した山陽小野田市中学生の文化スポーツ活動体制整備基本方針に基づき、令和8年4月からの「休日における学校部活動の地域移行」に向けて中学生の新たな地域クラブ活動の取組みを進めるものです。

予算額 655万3000円

主な質疑

- Q** 今後、中学校での部活動の日数はどうなるのか？
- A** 令和7年度は、平日は週3日、休日はいずれか1日の活動を継続し、令和8年度からは、平日は週2日、休日は実施しない形をとる予定であり、保護者にもその旨を通知している。

妊婦のための支援給付金事業



妊娠から切れ目のない支援を行う観点から、児童福祉法の妊婦等包括支援事業等の支援を効果的に組み合わせて妊婦に支援給付を実施することにより、身体的、精神的ケアおよび経済的支援を実施するものです。

予算額 3012万6000円

主な質疑

- Q** この事業は妊婦等の身体的や精神的ケアよりも経済的支援になるのではないかと？
- A** この事業だけを取れば経済的支援になるが、包括相談支援事業を組み合わせることで身体的、精神的ケアも行っていく。

「地域を創る」「ひとを創る」「まちの価値を創る」

～活力と笑顔あふれるまち スマイルシティ山陽小野田の実現に向けて～

※骨格予算とは

市長の改選を目前に控えていることから、政策的な経費を極力抑え、義務的経費や継続的事業を中心に編成された予算のことです。

市長が決定したら市長の政策やカラーが反映される「肉付け予算」と言われる補正予算が出てきます。

定期予防接種事業 (带状疱疹ワクチン)



予防接種上のB類疾病に位置付けられる带状疱疹の予防接種について、令和7年度から同法に基づく「定期の予防接種」として実施するものです。

予算額

2508万8000円

主な質疑

Q 接種費用は何割の負担になるのか？

A 約3割で、生ワクチンが2660円、組換えワクチンが6620円であるが、組換えワクチンは2回の接種が必要である。

通学路安全対策事業



通学路の中には交通量が多く、歩道が設置されていない市道や歩道が狭い市道があるため、通学路の路側帯の整備や歩道の拡幅等を行い、児童生徒の通学の安全向上を図るものです。

予算額 9800万円

主な質疑

Q 通学路の安全対策工事を実施する順番はどのようになっているのか？

A 実施する予定の路線は多く、優先順位をつけて実施していきたい。

駐車場事業特別会計 (工事請負費)



厚狭駅南口駐車場事業経営戦略に基づき、駐車場西側の未舗装部分の舗装工事を行うことにより、舗装された駐車枠を190台から300台に拡大するものです。

予算額 5000万円

主な質疑

Q 舗装工事はいつ頃、行うのか？

A 舗装工事について契約上必要な工期は4カ月程度を見込んでおり、令和7年12月から令和8年3月を予定している。

Pick up!

予算に反映！ ～市民の声から実現しました～

新規予算！

加齢性難聴者補聴器購入助成事業

認知症予防の取組みの一つとして、難聴の早期発見及び中等度難聴者の補聴器の使用を進めるにあたり、補聴器の購入助成制度を創設するものです。

●令和4年5月に「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公費助成制度の創設を求める請願書」が市民団体から議会に出されました。今年度、新規に予算措置されたものです。

予算額
276万円

予算増額！

住宅リフォーム資金助成制度

市内事業者の経済振興を図るとともに、市民生活の向上と住宅改善を目的とするものです。

●令和6年10月に「山陽小野田市住宅リフォーム資金助成事業の予算の拡大と助成金の増額を求める要請書」が業界団体から議会に出されました。前年度1000万円であったものが200万円増額されています。

予算額
1200万円

令和 7 年度予算審査について

全文はこちらから↓



委員会提出決議案第 1 号
をご覧ください

3 項目の附帯決議を全会一致で可決

中学生を取り残さない部活動の地域移行について



中学生の新たな地域クラブ活動の実施に向けて、令和 8 年 4 月から休日における学校部活動を地域に移行する取組みを進めている。しかしながら、地域クラブ活動の指導者や受入れ団体を十分に確保できていない。ついては、今後も指導を行うことを希望するものが、引き続き地域クラブ活動の指導者で在り続けられる制度づくり、地域クラブ活動の指導者となるための支援や指導者としての活動に対する謝金への支援等の制度づくり、地域クラブ活動を行うための施設整備などの課題に対して体制を早急に整備し、文化・スポーツ活動を希望する中学生が取り残されることがないことを求める。

ハロウィンイベントの効果的かつ適切な事業執行について

ハロウィンイベント実施事業では、市民等と協創してイベントなどの事業を実施することにより関係者にシビックプライドが醸成されるなど一定の効果は見られる。しかしながら、本事業の核心がシティセールスであることを鑑みると、本市の認知度の向上、交流人口・関係人口の増加等の面からは効果的な事業展開がなされているとは言えない。ついては、内容や方策を見直し、求める効果に対して予算を適切に執行することを強く求める。



地域づくり政策アドバイザーの在り方の見直しについて

地域づくり政策アドバイザー設置事業は、地域運営組織推進事業の一環であり、当該アドバイザーが地区運営協議会を継続的にサポートする体制を整備するものである。しかしながら、地域づくり政策アドバイザーに対して、今後も準備段階と同程度の働きを求めるという事業内容については見直しが必要であると考えます。ついては、地域づくり政策アドバイザーの在り方を精査し、その実働に応じて、真に必要なものに限って執行することを強く求める。

※附帯決議とは？

議案を議決するに当たって、議会の希望意見として付すものをいいます。法的効力はなく、政治的に尊重されるべきものとされています。

委員会提出議案第 1 号

山陽小野田市議会基本条例の一部を改正する条例の制定 (第 27 条の改正)

【経緯】

令和 6 年 7 月 4 日から議会運営委員会にて議会基本条例を検証し、改正の必要について協議をしました。その中で、第 27 条山陽小野田市議会政治倫理条例の意義について疑義が生じたため、立法事後評価を行いました。

【委員会での議論】

- ・各議員の政治倫理については、特定の基準に違反したか否かを同僚議員や他者から審査され、懲罰に類似した措置が行われるのは適切ではない。
- ・政治倫理の保持については議会基本条例に明記することで達成できる。
- ・議員は市民全体の奉仕者であり、第 27 条の文言は今のままでよい。

【結果】

- ・第 27 条を「議員は、政治に携わるものが守るべき職業倫理である政治倫理を常に自覚しなければなりません」に改める
- ・第 27 条第 2 項を削除して、山陽小野田市議会議員政治倫理条例を廃止とする



※議会基本条例とは？

「議会の最も尊重すべき規範」と位置付け、平成 24 年に施行しました。

↑ 委員会提出議案第 1 号は
こちらからご覧ください

◎賛否の分かれた議案の議決結果



←全議案（46 件）の審議結果は、ホームページに掲載しています。

令和 7 年 3 月定例会	議決結果	議員名																			
		伊場 勇	大井 淳一朗	岡山 明	奥 良秀	笹木 慶之	白井 健一郎	恒松 恵子	中岡 英二	中島 好人	中村 博行	福田 勝政	藤岡 修美	古 豊和恵	前田 浩司	松尾 数則	宮本 政志	森山 喜久夫	矢田 伸幸	山田 幸子	吉永 美子
小野田地区保育所整備事業（建築・機械設備工事）請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
令和 7 年度山陽小野田市一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
令和 7 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
令和 7 年度山陽小野田市介護保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
令和 7 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
財産の減額貸付けについて	原案否決	×	×	—	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	—	
山陽小野田市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	

○：賛成 ×：反対 —：棄権または欠席
高松秀樹議員は議長であるため賛否の結果はありません。

ハロウィンイベントの効果的な事業執行を

●ハロウィンイベント実施事業

概要 シティセールスの推進、交流人口の増加、※スマイルプランナーなどまちづくりの担い手育成のため、10月を「オレンジ月間」として、オレンジ色やハロウィンを演出に生かしながら本市の魅力をPRするものです。メインであるハロウィンパーティーを実施しているほか、市内をオレンジ色で装飾し、また、周遊型イベントである「オレンジモンスターと遊ぼう」などを実施しています。

※スマイルプランナーとは

さまざまな分野で活躍している本市のファンや「これから何かやってみたいな」と考えている新しいファンの人たち、そして市とが、思いや情報を共有し、連携することができる制度に登録されたファンの人を「スマイルプランナー」といいます。

主な質疑

- Q** ハロウィンパーティーを目当てに来場する者の数をどう分析しているのか。
- A** 商業施設への来場者数と重複するので明確な数字を出すのは難しいが、令和6年度はアンケートを1290人に実施し、市内在住の来場者58%、市外在住の来場者42%であった。
- Q** 令和7年度の事業の進め方はどうか。
- A** スマイルプランナーや大学生を主とした体制に移行しつつあり、まちづくりの担い手育成にも繋がっている。事業の費用対効果は決して低くないと考えており、ブラッシュアップしながら進めていく。



↑スマイルプランナーの詳細はこちらから



こども家庭センターを設置

●こども家庭センター事業

概要 母子保健・児童福祉の両機能の連携・協働を深め、子育てに困難を抱える家庭に対して、切れ目なく、漏れなく対応するために、令和7年度からスマイルキッズ内に、こども家庭センターを設置し、運営するものです。事業の対象は妊産婦および子育て家庭、手段は母子保健機能および児童福祉機能の一体的な運営、意図は妊産婦および幼児の健康の保持・増進に関する包括的な支援等を切れ目なく提供することです。

スマイルキッズ内に設置



主な質疑

- Q** 今までは母子保健の相談業務は保健センターで担ってきたのか。
- A** 相談業務はスマイルキッズ内にあるココシエ、保健センターで担っていた母子保健担当の保健師、両方で担ってきた。
- Q** 全ての妊婦、子育て世代、子供への一体的な相談支援は、既にスマイルキッズで行っているのではないか。
- A** 本市は平成30年にスマイルキッズを開設し、他市よりも先んじて児童福祉、母子保健の両方を行ってきた。こども家庭センターの設置することで、相談支援業務をさらに強化する。

市場施設の減額貸付けを否決

◎議案第 42 号財産の減額貸付けについて

概要 令和 4 年 7 月 1 日から民営により地方卸売市場が開設され、市場施設を民間事業者に貸し付けています。その契約が令和 7 年 3 月 31 日で満了となることに伴い、経営が安定するまでの間、その貸付料について減額するものです。協定書に基づく貸付料は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで、10 分の 2 である年額 60 万 7924 円となります。

【減額理由】

- ・公益性の高い地方卸売市場の運営を継続的にできるようにするため
- ・地方卸売市場が需要と供給に応じた適正な価格形成、地域農業振興、地産地消等の重要な役割を担っていることを考慮するもの

■審査で分かったこと

* 市が当初（令和 4 年 6 月議会）減額貸付けを提案した四つの理由は、

1. 安心して新鮮な青果物を供給すること
2. 需要と供給に応じた適正な価格形成をすること
3. 地元等農産物を取り扱うことで地域の農業振興を図ること
4. 地産地消等、市民生活の安定向上に資すること

この 4 項目を実現するための十分な実績はなく、今後も見込まれる状況にはない。

* 株式会社フレッシュから市に提出された市場の認定申請書の計画における取扱高は、令和 4 年度は 6000 万円、3 年後は 8400 万円程度となっていたが、実際は 2000 万円程度である。

* 減免措置を受けながら市場の附属店舗を転貸し、家賃収入を得ている。

■自由討議 委員会

- ・令和 5 年決算で 370 万円の赤字、そして昨年度が 510 万円の赤字となっていて当初の計画通りに進んでいない。
- ・市民の財産を附属店舗に転貸して、経営が成り立っている状況はよくない。
- ・議案の提案理由にあるように、継続的に市場の運営を行うためには、減額貸付けが必要である。
- ・現在の社会情勢の中で市場を経営していくのは非常に困難であり、家賃収入を経営の一助にすることは苦肉の策である。

■討論 本会議

反対：減額貸付け要件の 4 項目についての成果や取組みを確認することができないため、市の財産である施設について減額貸付けを認めるわけにはいかない。

賛成：市場の果たす役割は非常に大きいですが、今の社会情勢の中では非常に厳しい状況があるので、経営安定のための減額貸付けには賛成である。

反対：本来の市場運営ではなく、市の施設を附属店舗へ転貸して、収入を得ることによって成立する経営はいかななものかということで、減額貸付けについては反対である。

反対：他にも市有財産がある中で減額貸付けを安易に認めることは、行政の公平性に反するため反対である。

賛成：議案の減額貸付けの理由は妥当性があり、市場は公益性が高いので、経営安定の見通しがつくまでの減額貸付けについては賛成である。

■結果

委員会：賛成少数で否決

本会議：賛成少数で否決





危険な通学路の 対策を早急に

【今回の一般質問】

- ・ 带状疱疹ワクチン補助
- ・ 危険な通学路改善の取組み

危険な通学路

Q 通学路において危険箇所をどのように把握しているか。

A 児童・生徒、保護者、地域の見守り隊からの情報提供や、計画的に実施している教員、保護者が同行する小学校の下校指導の際の安全確認等によって、通学路の危険箇所を把握している。

Q 危険と把握した場所への対応はどのようにしているか。

A 速やかに現場を確認した上で、関係機関等へ連絡し対応をお願いしたり、関係する児童・生徒には注意喚起や安全指導、時には通学路の変更を指示したりしている。保護者にはメールや文書等で注意喚起を行っている。また、学校、警察、道路管理者などが一堂に会して現地で合同点検を行い、規模に応じた整備手法を選び、対策を実施している。

交通安全プログラムの仕組みは

Q 上木屋梅の木線の通学路の対策はあるか。

A 歩道が狭く、交通量も非常に多いため、山陽小野田市交通安全プログラムの危険箇所となっている。平成 29 年度から国の補助金を活用して、歩道の拡幅事業を年次的に実施しており、令和 6 年度末で整備延長 600 メートルのうち 266 メートルの約 45%が整備済みとなる。



石井手バス停付近

認知症の人と 共に生きる

【今回の一般質問】

- ・ 認知症施策の推進
- ・ 子育て支援、難聴支援
- ・ 市民サービスの向上



Q 誰もが認知症になることを前提に、認知症の人を含めた共生社会の実現を推進するための認知症施策推進計画を国が策定したことから、本市においても計画策定が必要ではないか。

A 国の基本計画を基本としつつ、本市の実情に即した計画の策定に努めていきたい。

Q 策定期限の考えを聞く。

A 第 9 期高齢者福祉計画の基本目標の一つに認知症施策の推進を掲げている。この推進期間が令和 8 年度までとなっているので、計画の策定期限については、令和 9 年度からの第 10 期高齢者福祉計画に合わせ、策定に努めていきたい。

ユマニチュードを普及させよう！

Q 認知症の人の尊厳ある暮らしを守る技法であるユマニチュードの普及について、どう取り組むか。

A 現在、市ではユマニチュードに特化した具体的な取組みは行っていないが、グループホームなどの施設では、ユマニチュードの研修機会なども設け、技法の一部を取り入れている所もある。ユマニチュードの技法も認知症の方々の尊厳を守り、その人らしい暮らしを支えるために効果的な技法の一つであることは理解しているので、活用については技法の一つとして研究していきたい。

【ユマニチュード 4 つの柱】



大井 淳一朗議員
おおいじゅんいちろう

ワンストップ 窓口の実現を

【今回の一般質問】

- ・都市計画公園の見直し方針
- ・子ども医療費助成の拡充
- ・窓口のDX化

Q 本市における窓口のDX化の取組みは怎么样了のか。

A 具体的な取組みとして、住民票や各種証明書のコンビニ交付、市役所ロビーへのキオスク端末の設置、申請書作成支援システムの導入、キャッシュレス対応のPOSレジの設置、スマホでの市税等の納付の仕組みづくりなどを進めており、市民の利便性の向上を図っている。

Q 「書かない窓口」の利用状況はどうか。

A マイナンバーカードの情報を読み取り、申請書等に印字し、手書きする部分を省略する「書かない窓口」を令和4年3月に導入している。利用件数は徐々に増加し、令和6年12月末時点の利用者数は2591件となっている。

市民と職員の負担軽減のために

Q お悔やみ時に必要な手続を、タブレット端末などを使って一度に一つの窓口で完了できるようにしてはどうか。

A 本市においても、デジタル庁が推進する自治体窓口DXに取り組む中で、窓口業務の課題を洗い出し、アナログ、デジタルの改善を図り、市民と職員の負担を減らしていきたいと考えている。令和7年度中の設置に向けて取り組んでいきたい。



児童館廃止の方針 を撤回し、存続を

【今回の一般質問】

- ・学校給食の無償化を
- ・高校卒業まで医療費無料に
- ・避難所整備の充実を

中島 好人議員
なかしまよしひと

Q 第3期山陽小野田市子ども・子育て支援事業計画(案)のパブリックコメントにおいて、支援の課題に「地域社会の中で子育ての支援」とある。「多様性に配慮した、誰もが育ち、学び、遊べる環境を整備する必要があります」と記載されているが、これに適しているのが児童館と思われる。なぜ廃止するのか。

A 児童館もその役割を担っていると認識しているが、子育てニーズが放課後児童クラブ事業の充実へ傾いていることから、今後は放課後児童クラブ事業を一層充実していきたい。

Q 児童館は地域のボランティアが関わり、子どもたちが安心して遊べる場であるため、残すべきではないか。

A 児童館の果たしてきた役割は大きいですが、社会情勢の変化とともに児童館の役割も変化しており、児童館の機能は他の場所で代替可能であることから廃止の方針である。

子どもには最善の利益を

Q 児童館の廃止に当たって、子どもや保護者の意見を聞いたのか。

A 児童館の廃止については、子どもの意見を特に聞いていないが、こども計画の策定を予定しており、その中で子どもの意見を聞き、反映させて策定していきたい。



有帆児童館

子どもの意見を



災害時の逃げ遅れ ゼロをめざす

【今回の一般質問】

- ・高齢者等避難発令の周知
- ・避難経路の確保

逃げ遅れゼロ

Q 避難経路は安全に避難できるように設定されているのか。

A 市が発令する避難指示等は、危険区域に居住している市民に対し、知人や親戚の家、ホテルなどの民間施設、市指定の緊急避難場所、2階など安全な場所に避難してくださいと知らせるものである。避難場所は各家庭で実情に応じて検討してもらう必要がある。

Q J R長府駅のようにJ R小野田駅も南北の連絡通路を新設すれば、徒歩で避難する人の新規ルートとなり避難時の安全性が向上するし、周辺地域の活性化にも繋がると思うがどうか。

A 避難ルートの増加は防災の観点からも好ましいとは考える。しかし、通路の新設はJ Rの意向もあり、仮に設置する方向であっても相応の期間を要するため、J R小野田駅の連絡通路の有無に関わらず、各家庭の事情に応じて避難経路を検討していただきたい。

蛍光看板の設置を

Q 安全に避難するためにも、避難経路を示す蛍光看板を設置してはどうか。

A メインとなる避難経路があってもよいと思うが、逆にそこをみんなが目指すと危険なことになる可能性もある。経路をメインにつくことは今の時点では考えていない。



須恵健康公園の トイレの環境整備

【今回の一般質問】

- ・須恵健康公園のトイレ環境
- ・投票環境の整備

Q テニス場にあるトイレの市道側外壁部分の一部が金網状であり、プライバシーの確保に問題がある。早期に不具合の解消を行うべきである。

A メッシュフェンスに目隠しシートを設置し、トイレの空間が見えないようにしている。

Q 地方自治法第244条に、「1、住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設を設けるものとする。2、正当な理由がない限り、住民が公の施設を利用することを拒んではない。3、住民が公の施設を利用することについて、不当な差別的取扱いをしてはならない。」とある。体育館は公の施設であるので誰もが必要な時にトイレを使えるように開放すべきではないか。

A 有料施設である体育館は、使用料を頂いた方の利用が大原則であり、優先的だと考えているので現在の対応でいきたい。

体育館内のトイレの有効利用

Q 公共施設である体育館の中のトイレは誰もが必要なときに使える。公園から直接入れるように解放してはどうか。

A 保安上どうしても目の行き届かないところのため、鍵をかけている。決して公園の利用者の差別をするものではなく、利用制限はしていない。



公園内から直接入れるトイレ入口



トイレの自由開放

まつおかずのり
松尾数則議員



農村ルネッサンス

【今回の一般質問】

- ・小規模校の教育問題
- ・農村 RMO による農業政策

農村 RMO 発進

Q 地域おこし協力隊の活用について聞く。

A 現在 2 名の地域おこし協力隊員が地域協力活動に従事しており、地域の課題解決について成果を上げている。

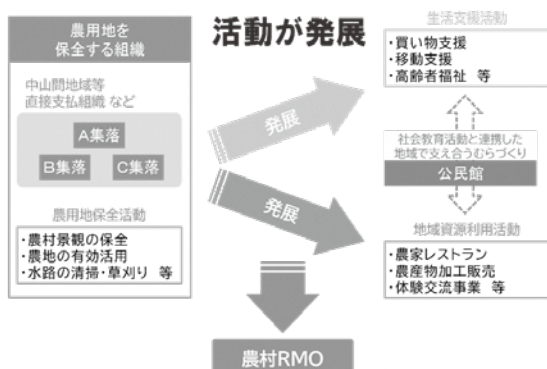
Q 農用地保全について、具体的な対策、効果について聞く。

A 中山間地域における農用地保全策として、直接支払交付金制度および多面的機能支払交付金制度が活用され、協働活動や施設の維持が支援され、農地の長寿命化、担い手農家の負担軽減、並びに農業の継続が実現されている。

農村 RMO の実践

Q 農業の地域課題を解決するには、農村型地域運営組織（農村 RMO）を形成することが必要だと思うが、農村 RMO についての考えを聞く。

A 農村 RMO は、中山間地域の農業の課題を解決し、これからも持続可能な地域づくりを推進する上で重要な課題である。集落機能の補完や農業を核とした経済活動を通じて、地域コミュニティの維持に取り組み、RMO の形成に当たっては、地域の多様な関係者の協力と将来ビジョンの策定を基に、既存組織の活用や国・県の支援を最大限に生かし、市としても地域からの提案を支援したい。



しらいけんいちろう
白井健一郎議員

市政への市民参画はなされているか

【今回の一般質問】

- ・市政への市民参画
- ・市の障がい者雇用



市側の発信

Q 市政情報の中の取捨選択・優先順位だが、シティセールスを中心に考えるシティセールス課に全てお任せできるのか。

A 市政情報については、シティセールス課での取捨選択はしておらず、各担当部署から依頼のあった情報は、全て対外的に情報発信をしている。

市民の生の声を取り上げるために

Q 市政説明会やまちづくり懇談会、みんな de スマイルトークなどで市民の声を直接聞いているとのことだがどのような現状か。

A まちづくり懇談会は 10 人以上の団体で開催が可能である。みんな de スマイルトークはテーマに沿った方から御意見を伺っている。市政説明会は、重要な事業を行う場合に担当課の判断で開催している。

Q 市政への市民参画の上で、「協創のまちづくり」の理念は、企業や団体等の組織の前に市民一人一人の声が相対的に小さくなっていると感じるが、吸い上げることができているか。

A 市を二分するような話の場合は、当然市長が自ら考えを発信するのも必要である。また、現場の担当が吸い上げてきたものを全部上まで上げる仕組みがある。広くあまねく市民の意見を聞いて、行政は対応している。



産業建設常任委員会

■所属議員 藤岡修美、恒松恵子、中島好人、中村博行、福田勝政、宮本政志、矢田松夫

■視察日 令和7年2月12日

■視察場所 岡山県

■テーマ 新規就農者育成総合対策事業 など
岡山県では、新規就農希望者の状況に応じた支援事業が行われている。また、移住希望者も就農できるよう、県内各地で受入体制が整えられている。本市にも就農希望者の情報があればスピード感を持って伴走支援することが求められる。担い手の減少や後継者不足は喫緊の課題であり、担当委員会としても農業施策について研究し提言していく。

■視察日 令和7年2月13日

■視察場所 香川県坂出市

■テーマ 地域公共交通



坂出市では、地域ごとに異なる特性を踏まえ、坂出駅を中心とした都市全体の利便性向上に資する公共交通の充実を図り、事業者や市民と連携しながら持続可能な都市の実現に向けて計画に基づき、さまざまな取組みを行っている。また、単に計画・実施して終わりではなく、取組みの分析結果を積極的にホームページなどで公開し市民の主体的な参加を促している。市民の利便性向上かつ持続可能な地域公共交通への取組みを参考にして、本市も実現できるように、委員会として取り組んでいく。

みらい21

■所属議員 中村博行、大井淳一郎、前田浩司

■視察日 令和7年1月22日

■視察場所 茨城県下妻市

■テーマ 公共交通空白地域の解消



全国的に地方の公共交通が脆弱^{ぜいじやく}になる中、下妻市では、つくば市、土浦市、牛久市の近隣3市と連携し、ドライバー不足による公共交通空白地を解消するため、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、一般ドライバーの自家用車を活用し有償で運送を行う「地域連携公共ライドシェア事業」に取り組んでいる。

本市において、デマンド型乗り合いタクシーなど、利用者数は若干増えてきているものの、地域住民の生活利便性の向上が重要な課題であるとする。今回の視察で学んだ取組みを参考に、本市の地域公共交通を補完する移動手段について調査・研究を重ね、行政としてできる支援がさらに進むよう取り組んでいきたい。

矢田松夫議員

■視察日 令和7年2月4日

■視察場所 滋賀県大津市

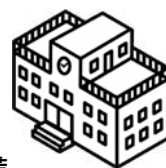
■テーマ 小規模特認校、学校選択制

大津市では、ニュータウン建設で学校間の規模格差が生じており、解消をするために、小学校の選択制度による就学人数の均等化を実施している。本市においても小規模校が多く存在しており、就学人数の学校間格差をなくすため、平成18年に答申が出ている「適正規模・適正配置」に基づき早急に通学区域の変更を求めている。

■視察日 令和7年2月18日

■視察場所 滋賀県草津市

■テーマ 学校体育館への空調設備



草津市では、令和6年度から7年度にかけて、市内全小中学校に空調設備設置を計画した。空調熱源には都市ガスを主体に導入したが、災害を予測した場合に、体育館に併設した武道館にはLPガスで対応できるようにしている。輻射式も検討したが、壁板を撤去するために、工事期間も考慮し壁掛け空調機とした。本市の市民体育館における空調設備について、供給安定、災害対応、経済性（コスト）など、総合的に検討していきたい。

中学生を対象とした本会議傍聴

- 日時 令和7年6月6日(金)
一般質問初日：午前9時30分～
- 場所 山陽小野田市議会本会議場
- 対象 厚狭中学校、厚陽中学校、埴生中学校

令和7年度も、広報活動の一環として市議会本会議を中学生が傍聴します。また、傍聴以外の生徒は、学校で議会のライブ中継を活用して本議会の視聴をしていただきます。



令和6年度の中学生による傍聴

議員研修会を開催しました。

- 日時 令和7年3月31日(月)
午前10時30分～午後3時30分
- 場所 山陽小野田市役所第2委員会室
- 講師 江藤 俊昭氏（大正大学地域創生学部教授 山陽小野田市議会アドバイザー）
- 講演内容

～地方議会の役割と議会改革の必要性～

これからの縮小社会においては住民をはじめ、議会、市長による総力戦が鍵となります。よりよい山陽小野田市にするために議会改革から次のステージに向けてさまざまなアイデアを学びました。

民主主義は市民の希望と参加で始まります。

その一翼を担う議会として、これからも新しい視点で議会活動に取り組んで参ります。

お知らせ

6月定例会会期日程(予定)

会期中の日程

会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

月 日	内容
5月23日(金)	本会議(初日)
5月27日(火)	委員会
5月29日(木)	本会議 2委員会・分科会
5月30日(金)	2委員会・分科会
6月2日(日)	2委員会・分科会
6月6日(金)	一般質問
6月9日(月)	一般質問
6月10日(火)	一般質問
6月16日(月)	一般質問
6月17日(火)	一般質問
6月18日(水)	一般会計全体会
6月20日(金)	本会議(最終日)

編集室より



▼図書館に保存されている小野田市史、山陽町史には議会についての記載が多々あり興味深い。戦時には臨時に尋常小学校で議会を開催したとのことで、混乱の中で役割を果たそうとする先人に思いをはせている。昭和17年には歴史的な台風被害を受けて臨時災害原因特別調査規定を議決し、また相次ぐ企業の進出から昭和45年には公害防止対策特別委員会を設けて、まちの危機に対応しようとする姿勢がうかがえる。最近では、理科大やコロナ対策などの特別委員会が設置されたことも記憶に新しい。これからも市民の負託を受けた議会としてまちの課題には全力で応える心づもりである。ちなみに昭和49年から、市議会報としてこの議会だよりは発行している。(恒)

発行 山陽小野田市議会／編集 広報特別委員会

〒756-8601 山陽小野田市日の出一丁目1番1号

☎82-1182

ホームページ <https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/sigikai/>

発行日 令和7年6月1日



市議会



市議会



市議会



市議会

ホームページ フェイスブック インスタグラム ユーチューブ

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。